

2016年6月30日

四国アイランドリーグplus

事務局長 坂口裕昭

北米遠征Can-Amリーグ公式戦・第18戦

延長11回制す！ 通算成績7勝11敗

カナダ現地時間6月29日(水)19時5分(日本時間6月30日(木)8時5分)より、四国アイランドリーグplus ALL STARS (IL選抜)のCan-Amリーグ公式戦・第18戦が、オタワ・チャンピオンズと行われました。

オタワ・チャンピオンズとの3連戦の2試合目は、点を取りあう展開が続きます。

3回裏に先発の間曾が3連打を浴びて2点を失いますが、4回表に河田のツーベースが飛び出すと、古川敬の内野ゴロがエラーを誘い、河田がホームへ生還して、1点を返し2-1とします。

しかし直後の4回裏にスリーベースと犠牲フライで3-1と追加点を許しますが、打撃陣も諦めません。

6回表、林、松澤、ザックの連続ヒットでランナーをためると、続く小林、河田にタイムリーヒットが生まれ、2点を返して、3-3の同点とします。

先発の間曾は6回裏にヒット2本でピンチを招き、三振を1つ取ったところでマウンドを降ります。ここでマウンドへ上がった佐藤が、2者連続三振を奪い、チームのピンチを救いました。

その後佐藤は8回裏に2連打でピンチを招きますが、粘りの投球で抑え、2回2/3を無失点に抑えました。

9回裏からマウンドに上がった岸本はランナーを得点圏に置くものの、要所を抑える投球を続けて、10回裏まで無失点に抑えます。

打撃陣は11回表、タイブレークで出た2塁ランナーを代打の大城が送りバントで3塁に進めると、鶴田のセカンドゴロの間にホームへ生還し、この試合初めて勝ち越します。

11回裏、好投を続ける岸本は、先頭打者の送りバントでタイブレークのランナーを3塁に進めますが、後続2人を内野ゴロに抑えてゲームセット。待望の北米遠征7勝目となりました。

試合結果は以下のとおりです。

【オタワ・チャンピオンズ 対 四国アイランドリーグplus ALL STARS】

6月29日(水) レイモンド・シャポー・グラント・ソートン・パーク 試合開始19:05 ※日本時間6月30日(木)8:05am 2413人														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計	H	E
四国アイランドリーグplus ALL STARS	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4	12	3
オタワ・チャンピオンズ	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	11	2

※延長11回以降はタイブレーク制
無死2塁の状況より攻撃を始める

勝:岸本 負:Moeller

<継投>

ILplus選抜

投:間曾-佐藤-岸本

捕:垂井-鶴田

オタワ・チャンピオンズ

投:Chrismon-Moeller

捕:Grauer

三塁打:Pyles(OC)

二塁打:河田(IL)

【中島輝士監督のコメント】

まあ、でもこれは、みんな一所懸命やった結果だしね。そのなかできょう、勝てたことが本当に嬉しいことだと思う。全然、手を抜いてるとかそうじゃなくて、精一杯のことをやって負けてるんだから。これで呪縛が解けたみたいで、あと2試合なんとか……。でも、きょうはミスも目立ったし。延長までもって行くようなゲームじゃなかったんだけど、間曾と佐藤がよく投げたし、岸本も3イニング、タイブレーク入ってからもしっかり抑えてくれたので。きょうはもう、この3人がしっかり守り抜いてくれたっていうのがあったし。ツル(鶴田)のリードも途中からだったんだけど、ものすごく2人をいい形で引き出してくれたので、良かったと思います。

【佐藤選手のコメント】

ツル(鶴田)さんと一緒に組むのは聞いていたので。もう、言われた通りに。ただただ、腕振って。ランナー背負ったり、点獲った後とかってこともありますけど、余計なことは考えられないので、目の前のバッターを三振に獲る。もう三振獲る気でいたので。「空振りを獲る」「厳しいボール投げる」とか、サイン通りに腕振ることしか考えてなかったです。最後の回に関しては、点を獲られなくてラッキーだったなって感じです。それまではしっかり腕が振れて、いいところに投げられてたんですけど、その回に関しては、打たれたヒットも全部、空振り狙ったのが抜けて。最後もスライダーがポンと浮いて、たまたまショートフライになった。そこはホントに「運が良かったな」っていう感じでした。3イニングは結構しんどいので、ツルさんから「この回をしっかりと。抜けることが多いから」ってことだったんですけど、そこをしっかりと投げ切ることができなかったのは課題だったかなと思います。

【鶴田選手のコメント】

最初から苦しい場面だったので、腹を決めて「行くしかないな」と。点獲られても仕方ないくらい、行くしかないなと思って。0点で守り切るの目標としていることで、本当に難しいことなんですけど。でも、それができるように最善の策を練りながらやっているの。結果として「0」を並べられたのはすごく良かったです。きのうである程度、相手の感じは大体分かったの。「こいつ、こんな感じやな」ってイメージはできてました。「打たれたらしゃあないな」と思ってましたけど「いける！」って部分も半分はありました。

【岸本選手のコメント】

きのうも一緒の場面っていうか「そこで出たかった」って気持ちが非常に強くて。そこで出られなくて。きょう、また一緒の流れが来たなかで「1イニングずつ抑えて行こう」と全力で投げた結果が良かったと思います。最初、ちょっと力みすぎて修正できなかったかなっていうのはありました。(11回裏は)「ここで点獲られたら、また振り出しに戻るな」って自分のなかで考えていて。こういう場面がアメリカ、カナダに来て多いので「必死で抑えて勝とう！」という気持ちで投げました。次も自分のピッチングができれば。勝つピッチングができればいいなと思います。

なお、試合の状況は、随時、四国アイランドリーグplus公式Twitterで、動画、写真をまじえながら配信中です。

https://twitter.com/Shikoku_IL_plus

詳しい試合レポートは下記をご覧ください。

北米遠征レポート：<http://bb-nippon.com/ib/column/1558-2016report>

試合終了数日後にはなりますが、ダイジェスト動画も配信しております。

https://www.youtube.com/channel/UCw5h_EQv-ubTxbsb3CDFnrA

以上

四国アイランドリーグplus運営事務局 株式会社IBLJ <http://www.iblj.co.jp>

〒761-8013 香川県高松市香西東町267-1

TEL 087-802-1580 FAX 087-802-1581 担当:加藤